

【書籍紹介】



張輝著

『実務と研究の「壁」をどう破るのか 前特任教授による 56 の特別メモ』

(出版社:NextPublishing Authors Press、
2018年5月)

ISBN-13: 978-4990944209

【著書内容】

本書は、MBA/MOT の社会人大学院生がぶつかるだろう「壁」に着目し、そこでよく悩むと想定される、実務と研究の壁とは何か、これらの壁をどう破っていくのか、破って何を期待するか、について、実務と研究の二足の草鞋を履く一人としての筆者の考えを一部公開する

ものである。目の前を覆う霧の中で日々奮闘しているかのような社会人経営大学院生への一助に繋がればと切に願っている。

具体的には、実務と研究の関係性を基調に置きつつ、著者個人的な体験も交えながら、MBA/MOT の学位が授与されるための重要な卒業要件になる「ビジネスプランの策定」と「研究論文の執筆」をめぐる、「なぜ」に留意しながら、必要と思われる前提認識、持つべき視点や実践的手法などに、図解、プレゼンテーション、文章、注記などとの関係についても、長年の膨大なメモなどから抽出した 56 の特別メモとして整理した。

多彩な MBA/MOT の社会人大学院生に対し、伝えるべき共通項は果たしてどこまで存在するのか、如何にして皆さんの経験知を活かし、その多様性を大切にしていけるのか、社会人教育のジレンマの根底にあるものとは何なのか、研究と実務の望ましい相互作用をもたらすものとは何か、業界の垣根を越えた昨今に求められる力とは、などについて、著者は私見としてのアドバイス等を率直に行う。

【著者略歴】

政策系シンクタンク首席研究員、戦略系経営コンサルティングファーム統括マネージャーを経て、2003年に株式会社技術経営創研社長。立教大学ビジネススクール(RBS)客員教授(前特任教授)、同大学経営学部客員教授。BMA ジャーナル編集長、博士。

20 数年間、製造、データベース、測量、バイオ製薬、ICT/GIS、省エネ、食品、アグリ、コンテンツ、衛星利用、気象等の業界に対し、調査提言、R&D 戦略策定、事業開発、ビジネスモデル構築、知財活用、技術移転、マーケティング、HR、産学連携、幹部研修、日中ビジネス等の実務に取り組む。一方、10 数年間、RBS にて、とくに特任教授期間では、博士課程前期課程(MBA)向けに知財経営論、イノベーション・マネジメント、ビジネスモデル入門、産業クラスター論を担当し、博士課程後期課程(DBA)向けに異文化経営論、技術経営論を担当。毎年、企業等向けのビジネスプラン審査委員を務めると同時に、多数の学会から投稿論文の査読を依頼されている。論文や著書を含む各種執筆や講演多数。

所属学会等はビジネスモデル学会、日本知財学会、日本 MOT 学会、日本マーケティング学会、日本経済法学会、全国イノベーション推進機構ネットワーク等。総務省、国交省、経産省等の関連プロジェクトや日本ビジネスモデル大賞等の専門委員等を歴任。

アマゾン <https://www.amazon.co.jp/gp/product/4990944208>

